

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2006-24059 (P2006-24059A)  
 【公開日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-004  
 【出願番号】特願 2004-202624 (P2004-202624)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 15/00 (2006.01)**

**G 0 6 F 12/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 9 0

G 0 6 F 15/00 3 1 0 Q

G 0 6 F 12/00 5 4 5 M

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 18 日 (2007.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも文書を管理対象情報であるオブジェクトとして管理するための文書管理プログラムにおいて、

オブジェクトに関連する操作の設定の入力を受け付ける設定入力手段、

上記設定に基づいて上記オブジェクトに関連して所定の操作を実行する操作実行手段、

過去に行なったオブジェクトに関連する操作の設定を選択する既存設定選択手段、

上記既存設定選択手段により選択された設定を適用するオブジェクトを指定する適用先オブジェクト選択手段としてコンピュータを機能させ、

オブジェクトに関連する操作の設定を、同一種類または他の種類の他のオブジェクトに関連するに操作に関し過去に行なった設定内容を利用して行なうことを特徴とする文書管理プログラム。

【請求項 2】

上記操作もオブジェクトとして管理されることを特徴とする請求項 1 記載の文書管理プログラム。

【請求項 3】

文書を回覧する操作の過去の設定を、文書の更新時にメール通知する操作の設定に利用することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の文書管理プログラム。

【請求項 4】

文書を回覧する操作の過去の設定を、文書のアクセス権限の設定に利用する請求項 1 から 3 のいずれかに記載の文書管理プログラム。

【請求項 5】

文書のアクセス権限の過去の設定を、文書を回覧する操作の設定に利用することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の文書管理プログラム。

【請求項 6】

文書のアクセス権限の過去の設定を、文書の更新時にメール通知する操作の設定に利用することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載の文書管理プログラム。

## 【請求項 7】

文書の更新時にメール通知する操作の過去の設定を、文書を回覧する操作の設定に利用することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の文書管理プログラム。

## 【請求項 8】

文書の更新時にメール通知する操作の過去の設定を、文書のアクセス権限の設定に利用することを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載の文書管理プログラム。

## 【請求項 9】

少なくとも文書を管理対象情報であるオブジェクトとして管理する文書管理装置において、

オブジェクトに関連する操作の設定を入力する手段と、

上記設定に基づいて上記オブジェクトに関連して所定の操作を実行する手段と、

過去に行なったオブジェクトに関連する操作の設定を選択する既存設定選択手段と、

上記既存設定選択手段により選択された設定を適用するオブジェクトを指定する適用先オブジェクト選択手段とを有し、

オブジェクトに関連する操作の設定を、同一種類または他の種類の他のオブジェクトに関連するに操作に関し過去に行なった設定内容を利用して、行なうようにしたことを特徴とする文書管理装置。